



志（こころざし）を立てよ。

2学期最後の日を迎えました。今年は、新型コロナウイルス感染症の対策はしっかりと行いながら、みんなで工夫して一つ一つの行事を成功させることができたと思います。限られた種目や時間の中で、限界の先にある頂きを目指して、持てる力を存分に発揮して競技した体育大会、それぞれ思いを響き合わせながら歌った合唱コンクール、宿泊学習や修学旅行、芸術鑑賞会に校内駅伝大会などなど。どの行事においても、40周年という、これまでの先輩方が築いてきた吉野東中学校の歴史と伝統を感じながら、一日一日を精一杯に生きることを通して新たな足跡を残す、そんな2学期になったと達成感を感じているのではないのでしょうか。

そういう中、生徒会も第40代から第41代へバトンが渡され、学校生活が順調に滑り出しています。12月1日（木）には、生徒総会が開催され第41代のスローガン「**跡～継続と進歩**」が生徒会長の芝崎楽さんから発表されました。このスローガンから、日々、目の前にあることに誠実に、ひたむきに向き合い、よりよい吉野東中にするために全員で一歩前に踏み出そうという意気込みを感じました。



スローガンについて語る
生徒会長の芝崎 楽 さん

いよいよ3年生は進路実現に向けての正念場。1、2年生も学習の成果をしっかりと自分のものとして定着させるための大事な時期を迎えています。江戸時代の末期、「志」（夢や目標への強い気持ち）をもつことの大切さを本に書いた若者がいました。福井藩士の橋本左内（1834～1859）は、西郷さんたちと一緒に日本の行く末を憂えて活動し将来のリーダーとして期待された人です。彼は**15歳の時**、自分はこのままではだめだと自分を戒め、立派な大人になるために心がける5つのことを「啓発録」にまとめました。その中で、**立志**として、夢や目標を持て。自分の心の向かうところをしっかりと決めて一度決心したからには、その方向を目指して絶えず努力するべきであると述べています。

また、志を立てるためには、①偉人の経歴を読書により知って憧れること②師や友から聞いたことにワクワクすること③自分が逆境に陥ったときに勇猛心を起こすこと④日々の生活の中で体験する様々なことから「感動」を覚えること、その体験を振り返り、何が自分の中で起きたのか、何に感動したのか、その体験は自分にとってどんな意味をもつのかを考えることが大事であると言っています。皆さんも、何のために高校へ進学するのか、その先に自分はどうなりたい、どうありたいのか、社会のために何を成し遂げるのかをしっかりと考えてみましょう。

2022年が終わろうとしています。ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて、地域の行事も少しずつ始まっています。この冬休みにも鬼火たきなどの行事が計画されているようです。地域行事に参加し、あいさつをしっかりと行うなど、地域に貢献する活動に積極的に参加し行動してみましょう。この一年を振り返って反省し、ワクワクする新年を迎えるために、目標、抱負を明らかにしましょう。

「啓発録」 <https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/macro/etc/locomo/keihatsu.pdf>

1月の主な行事

「SC来校」はスクールカウンセラーが来校する日です。

日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	日	(祝)元日 年始休暇	11	水	3年実力テスト(1~3校時) 学校納金日[1年]	21	土	週休日
2	月	年始休暇	12	木	3年実力テスト(1、2校時) 学校納金日[2年] PTA三役会(19:00~、図書館)	22	日	週休日
3	火	年始休暇	13	金	私立高校入試事前指導(3年、6校時) 学校納金日[3年]	23	月	私立高校入試開始 職員研修(授業は5校時まで)
4	水	仕事始め	14	土	土曜授業	24	火	
5	木		15	日	週休日	25	水	市SC来校(終日)
6	金		16	月	職員会議(授業は5校時まで) 私立高校推薦入試日	26	木	
7	土	週休日	17	火	鹿児島学習定着度調査1日目 (1、2年1、2校時)	27	金	職業講話(1年、5、6校時)
8	日	週休日	18	水	鹿児島学習定着度調査2日目 (1、2年1~3校時) 第7回家庭教育学級(アロマテラピー講座) 市SC来校(終日)	28	土	週休日
9	月	成人の日	19	木	生徒会学校専門部会(放課後) PTA理事会・役員選考委員会	29	日	週休日
10	火	始業式・大掃除	20	金	新入生入学説明会 公立高校推薦入学願書受付(~26日(木)) 県SC来校(午後)英検(放課後)	30	月	
						31	火	

無形文化財、日本の伝統芸能「能楽」の世界に触れる。

12月5日(月)に芸術鑑賞教室が行われ、京都から公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団の方々に学校に来ていただいて能楽「舍利」の公演をさせていただきました。能楽はユネスコ無形文化財に登録されている日本の伝統芸能です。県内では、日頃なかなか生の公演に接する機会はありません。今回は、文化庁の「文化芸術による子供育成推進事業」に応募したところ当選し、公演が実現しました。3年生は音楽の授業でも学習するので、仕舞(しまい)と謡(うたい)を体験するワークショップにも挑戦しました。片山家の方も理解しやすく楽しんで鑑賞できるように、物語を紙芝居調にして説明するなど工夫をされていました。1、2年生には難しいかなと思いましたが、体育館に設置された能舞台上で、演じられる本物の能の迫力に圧倒され、集中して鑑賞していました。冬休みにテレビ放送やネット動画でさらに鑑賞してみてもはどうでしょうか。



迫力ある本番の舞台



3年生によるワークショップ

自分の限界に挑戦し、思いをたすきに託してつなぐ！ 校内駅伝競走大

今年は、安全な中で、精一杯走れるようにと、初めて会場を吉野公園に移して実施しました。距離は男子が1、500m、女子が1、000mと短くなりましたが、アップダウンが長く続く過酷なコースでした。学級全員でたすきをつなぐということで少しでも自分のタイムを縮め、最後まであきらめずにゴールを切りたいという姿。学級代表として、少しでも前に、速く、たすきをつなぎたいと歯を食いしばって走る姿。みんなそれぞれ自分を超越するために挑戦しました。決勝テープを切るまで声のかぎりに応援する姿、走り終えてお互いの健闘をたたえ合う姿、数々の感動をありがとう。保護者の方々も応援ありがとうございました。

<学級対抗総合記録>

3年 第1位	3年2組	記録2時間16分59秒
2年 第1位	2年5組	記録2時間20分24秒
1年 第1位	1年5組	記録2時間19分33秒

<個人賞>

3年男子	第1位	2組	財部	青生	記録4分38秒
	第2位	1組	坂元	悠真	記録4分48秒
	第3位	2組	曾木	翔生	記録4分51秒
2年男子	第1位	5組	蔵園	悠真	記録4分54秒
	第2位	5組	櫻井	蓮	記録5分05秒
	第3位	4組	二田	宇宙	記録5分06秒
1年男子	第1位	5組	中森	楽稀	記録5分16秒
	第2位	2組	東	愛琉	記録5分21秒
	第3位	3組	林	義道	記録5分22秒
3年女子	第1位	3組	大石	愛純	記録3分35秒
	第2位	4組	大浪	ゆな	記録3分39秒
	第3位	3組	宮原	佐来	記録3分40秒
2年女子	第1位	1組	脇田	紗希	記録3分47秒
	第2位	1組	福森	陽菜	記録3分55秒
	第3位	2組	前川	華澄	記録3分56秒
1年女子	第1位	4組	大石	麗樺	記録3分45秒
	第2位	3組	諏訪免	優希	記録3分54秒
	第3位	1組	六反田	優音	記録4分01秒

<努力賞> (朝のランニング活動の延べ参加人数)

3年生	第1位	3年3組	75人
2年生	第1位	2年4組	174人
1年生	第1位	1年2組	149人

表彰・生徒の活躍

- 鹿児島市中学校理科研究記録展
 入選 1年 1組 寺口 絆吏 2組 豎山 志咲 3組 藤井 柑菜
 4組 宮永 柚菜 5組 今村 唯愛
 2年 1組 田代 瑛大 1組 藤山 鈴 3組 宇都 知里
 4組 濱田 彩希 5組 原田 百々花

- 「こころの言の葉」コンクール
 中学校の部 優秀賞 3年4組 橋元 瑠華

- 税に関する作品
 中学生標語の部 鹿児島小売酒販組合理事長賞 3年4組 川上 倫佳
 中学生標語の部 優秀賞 3年4組 吉松 明衣子

- 令和4年度国土緑化運動ポスター原画コンクール
 最優秀賞（県知事賞） 中学校の部 3年4組 谷口 真愛
 優秀賞（県教育委員会賞） 中学校の部 3年3組 石井 悠菜

- 市内中学校第58回席書会中央審査会
 奨励賞 2年1組 馬場 悠颯

- 第66回JA共済小・中学生書道コンクール
 条幅の部 銀賞 3年 米森 大悟
 半紙の部 銅賞 2年 馬場 悠 佳作 3年 米森 大悟

- 第50回JA共済小・中学生交通安全ポスターコンクール
 銀賞 3年2組 福留 翔
 銅賞 3年1組 児玉 優吏
 佳作 2年2組 芝崎 楽

- 第57回鹿児島県中学校秋季学年別水泳競技大会
 男子中学2年100m背泳ぎ 第2位 2年2組 有田 悠希 1分04秒30
 男子中学2年 50m背泳ぎ 第2位 2年2組 有田 悠希 30秒60

- 第54回鹿児島市新人ソフトテニス大会 1年女子の部 第3位 吉野東A
 1組 原田 夕凧 1組 西村 萌依 1組 久木田 遥
 2組 山野 心絆 3組 稲留 小春 3組 上大迫 結衣
 4組 内野 海晴

- 第22回全国スポーツ大会いちご一会 とちぎ大会 水泳競技
 50m 自由形 金メダル第1位 2年2組 芝崎 楽
 50m 背泳ぎ 金メダル第1位 2年2組 芝崎 楽
 25m 自由形 銀メダル第2位 2年4組 前村 周宥
 25m 平泳ぎ 銅メダル第3位 2年4組 前村 周宥

- 第12回JSCA全国水泳競技大会
 50m 平泳ぎ 第1位 大会新記録 37秒19

- 西牟田旗争奪中学校親善野球大会(1年生大会) 準優勝
 優秀選手賞 1年1組 屋 りなの

- 一、「^{ちしん}稚心^きを去る」：自分とその運命を変えようと思うなら、結局、自分の手で何とかする以外に方法はない。その第一歩は「稚心」、つまり「子供っぽい心」を捨て去ることである。
- 二、「^{ふる}気を振う」：負けてたまるか、くじけてなるものかという負けじ魂こそが人を変えるエネルギーになる。常にそうした心を持ち、緊張をゆるめず油断のないようにしなければいけない。
- 三、「^{こころざし}志を立てる」：夢や目標を持つ。自分の心の向かうところをしっかりと決め一度決心したからには、その方向を目指して絶えず努力するべきである。
- 四、「^{つと}学を勉める」：学問を学ぶことは大切である。そして、それを世の中のために正しく生かすこともまた大切である。
- 五、「^{えら}交友を択ぶ」：互いに切磋琢磨できる良き友を選ぶこと。自分を高めてくれ心から尊敬でき、何かあった時に、真剣に心配してくれる友達こそ、何よりも大切にすべきである。